

協働のまちづくり協議会（第6回）議事概要

- 《日 時》 平成 28 年 10 月 31 日（月） 午後 2 時～5 時 30 分
《場 所》 松戸市役所 議会棟 3 階特別委員会室
《出席者》 犬塚 裕雅 会長、文入 加代子 委員、杉浦 利彦 委員、長江 曜子 委員、牧野 昌子 委員、江藤 政継 委員、山崎 年也 委員、郡 正信 委員、阿部 剛（参考人・議題 3 より出席）
《傍聴者》 0 名

1 開会

※欠席者報告・委員会定数確認、配布資料確認

2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

3 議 題

(1) 第7回松戸市協働のまちづくり協議会（平成29年度協働事業・市民活動助成事業プレゼンテーション）について

事務局が、当日の進行について説明を行い、以下の確認を行った。

- ・団体が発表時間に遅れた場合、順番を変更する等して、発表の機会を提供し、欠席した場合は失格することとした。

(2) 第8回松戸市協働のまちづくり協議会（平成29年度協働事業・市民活動助成事業本審査）について・第6回協議会の一部非公開について

事務局が、当日の進行について、協働事業三者協議の報告、審査要領と審査基準の説明を行い、以下の確認を行った。

- ・プレゼンテーションにおいて、途中参加の委員が加わるタイミングを、到着がプレゼンテーション中の場合、その次の事業からとする。そして、委員は、プレゼンテーションを聞いた事業のみ審査に加わることにする。
- ・申請事業と利害関係のある委員は、協議会に報告するとともに、審査に加わらない。
- ・委員間の率直かつ活発な意見交換を図るため、本審査は非公開で行う。

(3) 第3次協働推進計画について

事務局より、第3次松戸市協働推進計画の素案について説明した。

また、委員より以下のとおり意見があった。

① 本市の市民活動を取り巻く状況について

委員 協働のまちづくりの背景として、地域課題の多様化と増加の説明の中に、昭和18年からの部分を丁寧に記載してほしい。リーマンショック、バブル崩壊、貧困や格差社会、また、松戸市は県内でも千葉市に次いで生活保護率が高いこと等の事象を加える必要がある。

また、可能であれば少子高齢化に関し、子育て支援制度を充実させてきたことも加えてほしい。

委員 子育て支援施策のほかに青少年の問題も書き込んでほしい。子育ては保育所を作れば終わりではなく、次に学童や居場所の問題もある。

参考人 退職者の方が高齢化に対してどう取り組んでいくのかという視点が中心であるような印象を受けるので、それ以外についても加えるとよい。

委員 活動の担い手としての市民について、子育て世代、多世代交流を盛り込んでほしい。また、市民活動団体について、連携・ネットワーク型組織の市民活動団体の中に、連携先として大学も入れるべきである。

参考人 市民と行政との協働の事例と協働のまちづくりの概念図との整合性を図ってほしい。

② これまでの取組みについて

委員 チャリティー自動販売機の設置場所及び台数を示している表に、寄附金額を載せてほしい。

委員 はじめの素案と比べると、アンケート結果についての考察が文章で書かれているのでわかりやすい。

委員 アンケートについて、「協働のまちづくりへの関心」をはじめ、全体的に目標値に達していない。

会長 「目標 2 まちづくりを担う市民活動団体が増えます」のアンケート解説文に「協働のまちづくりの事例や成果などの情報発信が不足していたと言える」とあるように、何が原因となっているのか、何が課題となるのかが、言葉で表現できているのでよい。

参考人 「基本施策 1 市民活動に参加する市民を増やします」や「基本施策 2 市民活動団体の活力を高めます」の取り組みとして、松戸市市民活動登録団体数やまつど市民活動サポートセンター登録団体数、またその数の推移を記載するとよい。

委員 「目標 6 協働による取組みが効果的に実施されます」に関する成果指標について、市民が見て理解しやすいようその指標の算出方法の補足説明を加えたほうがよい。

参考人 この目標 6 に関するアンケートについて、事業実施者及び市事業担当課の満足度を調査しているが、事業を行った結果どのような成果が得られたのかということは、満足度ではない部分である。

成果を測る際に自己評価だけでは不十分であるため、どう測るのかを今後考えていく必要がある。

③ 施策の方向性について

参考人 「目標 1 まちづくりを担う市民が増えます」の評価指数と目標値を示す表で、まちづくりへの関心度の「関心がある」というのが「大いに関心がある」と「ある程度関心がある」の合計ならば、これまでのデータとの比較という意味でも注釈を付けたほうがわかりやすい。

委員 「基本施策 4 協働のまちづくりを推進する市の職員を育成します」の目標値が前計画より下がっているのはどうか。

- 委員 過去の実績を考慮し、将来において実現が期待される期待値ということで、よく検討して出した数値なのであれば目標値はそのままでもよいだろう。
- 参考人 市民活動や協働事業の有効性の理解度で「そう思う」と答えなかった人の理由を深掘りしなければ、アプローチの仕様が無い。アンケート項目の追加や研修でのヒアリングなど、具体的な施策として課題の深掘りをしてほしい。
- 委員 「基本施策 3 事業者の社会貢献活動を促進します」について、事業者に対して何らかのアプローチをするべきである。マッチングの機会を設けないと事業者の社会貢献は増えない。
寄附を募るだけでなく、「事業に参加してください」などのアプローチをしていかないと、なかなか理解が深まらないだろう。
- 委員 市民活動を支援している事業者を表彰する、また事例を発表してもらう、などの方法もよい。
- 会長 社会貢献型自動販売機は推進し、なおかつ並行してその他の方法を調査検討していくとよい。
- 参考人 事業者の社会貢献は既に市内で行われている。しかしこれらの事業が見えてこないということが問題であり、もう一步踏み込んで「見える化」していく必要がある。
- 委員 松戸商工会議所では、優良企業の表彰を行っているが、こうしたコンペティションのようなものをこれから市で考えていくこともよい。
参加してみたいと思う動機付けや機会がないと、事業者もなかなか動かないだろう。
- 参考人 「基本施策 1 市民活動に参加する市民を増やします」の「市民活動をコーディネートする相談を充実します」の項目に、市民活動サポートセンターとの連携についても追記してほしい。
- 委員 「基本施策 4 協働のまちづくりを推進する市の職員を育成します」のところで、評価指標として何件ということは示さなくとも、協働事業の行政提案を充実させていくということをどこかに表明してほしい。

4 閉会